

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
(ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
(ホ)本書のご提示がない場合
(ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
(ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
(チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	CDクロックラジオ			★お買い上げ日:	年	月	日
型番	RCR-C300N	品番	07-8799	保証期間: 本体1年間(お買い上げの日から)			
お客様	ふりがな ★お名前 様						
	★ご住所 〒 ー						
	電話 ()						
修理メモ							
販売店	★住所 店名 電話						
	(印)						

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは 0120-963-006 048-992-2735
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

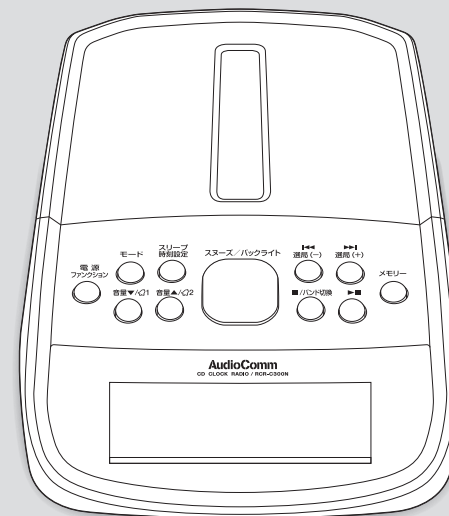
07-8799B

AudioComm®

保証書付 取扱説明書

CDクロックラジオ

型番 RCR-C300N 品番 07-8799



このたびは、AudioComm® CDクロックラジオをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。”

なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

目次

免責事項	1	アラーム機能の使いかた	13~14
安全上のご注意	1~3	ヘッドホンの使いかた	15
電源について	4	外部機器を接続してスピーカーとして使う	15
ご使用になる前に (CDについて)	5	スヌーズ/バックライトボタンについて	16
各部の名称	6	故障かなと思ったら	16
現在の時刻を設定する	7	お手入れのしかた	17
ラジオを聴く	8~9	主な仕様	17
CDを聴く	10~12	保証書とアフターサービスについて	18
スリープ機能の使いかた	12	保証書	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について


この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。


危険 この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。


警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

 △記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は「感電注意」が描かれています。)



 ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。(左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)

 ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。(左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。)

警告

 コンセントから抜く	万一、煙が出ている、変なにおいや音があるなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	 禁止	本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない
 コンセントから抜く	万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	 接触禁止	本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない ●火災・感電の原因となります。
 接続場所を選ぶ	電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかに電源プラグをコンセントから抜く ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。	 禁止	雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない ●感電のおそれがあります。
 禁止	表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。	 禁止	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
 禁止	海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。 ●この機器を使うのは日本国内のみです。	 乾電池に注意	本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
 分解禁止	本機を分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。	 使用を中止する	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。
 禁止	狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機に新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさがない ●火災の原因となります。	 禁止	乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。
 禁止	調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。	 禁止	電源コードを敷物などで覆わない ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
 禁止	水かけ禁止	 水かけ禁止	本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない ●感電や故障の原因となります。

注意

 禁止	電源コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	 禁止
---	---	---

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意	
 禁止 ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	 禁止 CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない ●レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。 
 禁止 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	 禁止 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。
 禁止 ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。	 アンテナをたたむ 持ち運ぶときは、壁などに留めたワイヤーアンテナを外す ●外さずに運ぼうとすると破損するおそれがあります。
 濡れ手禁止 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因となることがあります。	 コンセントから抜く 移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
 音量は小さく 音量を控えめにする ●周囲の迷惑になることがあります。	 指を挟まれないように注意 お子様はCD扉内に手を入れないように注意する ●けがの原因となることがあります。
 音量に注意 ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない ●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。	 コンセントから抜く 長期間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す ●火災・液もれの原因となることがあります。
 乾電池の電極性に注意 乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる ●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	 禁止 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
 禁止 指定以外の乾電池は使用しない。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	 掃除をする 電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
 コンセントから抜く お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜く ●感電の原因となることがあります。	

電源について

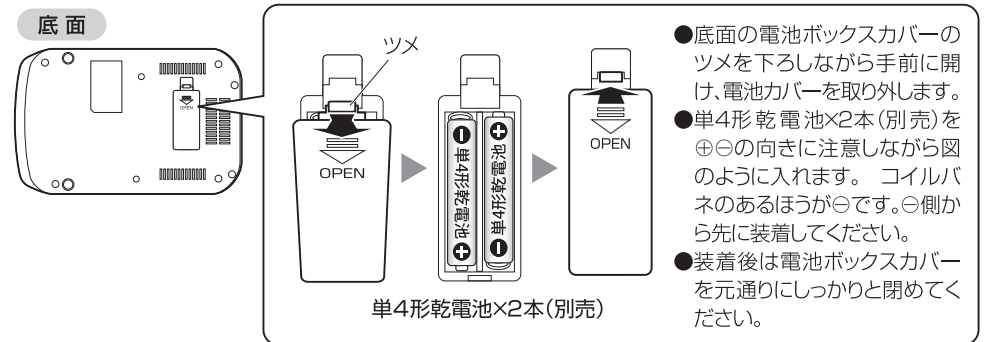


電源コードを抜き差ししたり、乾電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行なってください。

1

時計バックアップ用乾電池を装着します。

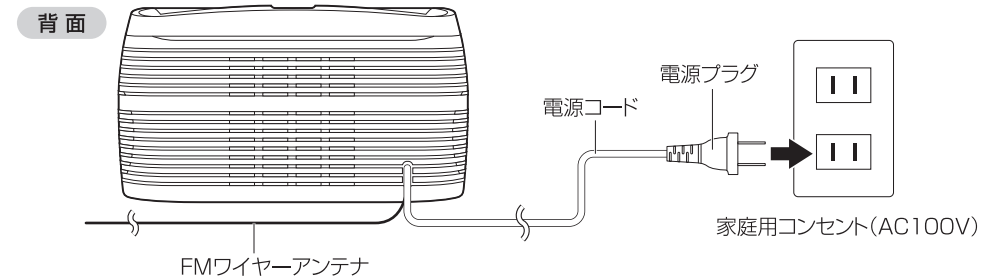
時計バックアップ用乾電池を装着しておく、停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときでも、現在の時刻やアラーム設定を保持します。



2

電源プラグを家庭用コンセントに接続します。

電源プラグを家庭用コンセントに接続すると、ディスプレイが「0:00」表示になります。P.7を参照して、現在の時刻を設定してください。



乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。



警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。



注意

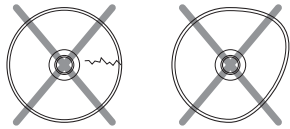
- ・⊕⊖の表示通りに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使う
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

ご使用になる前に(CDについて)

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

ディスク使用上の注意点



◆再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。

◆ディスクに  のマークが入ったものをご使用ください。

◆現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。なお「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

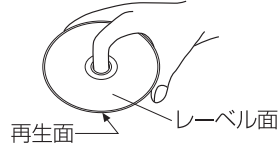


◆本機はCD-R/CD-RWの再生に対応していますが、以下の点をご注意ください。

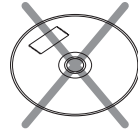
- ・再生可能なのは、CD-DAフォーマットで記録されたディスクです。
- ・本機ではMP3やWMAなど、圧縮されたフォーマットの音楽ディスクの再生はできません。
- ・CD-R/CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類や状態によっては、再生できなかったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
- ・ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。

ディスク取扱上の注意点

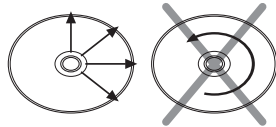
◆再生面に触れないように持ってください。



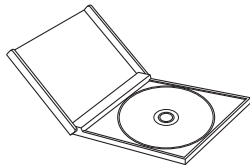
◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



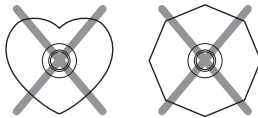
◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。



◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

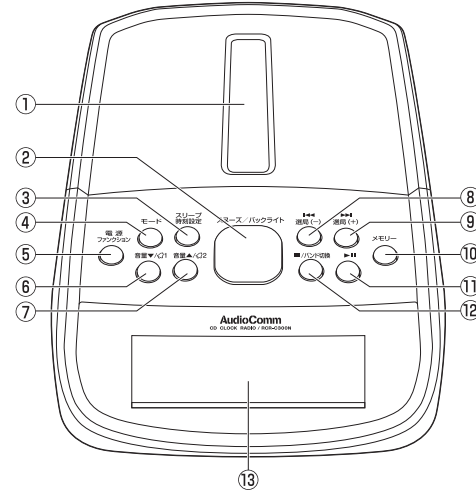


◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。



各部の名称

前面/上面

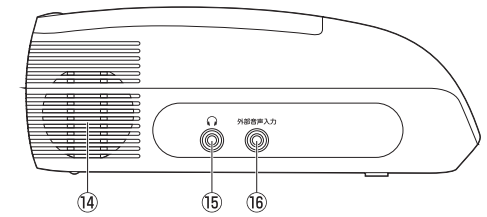


- | | |
|------------------|---------------|
| ① CD扉 | ⑫ 停止/バンド切換ボタン |
| ② スヌーズ/バックライトボタン | ⑬ ディスプレイ |
| ③ スリープ/時刻設定ボタン | ⑭ 左スピーカー |
| ④ モードボタン | ⑮ ヘッドホン端子 |
| ⑤ 電源/ファンクションボタン | ⑯ 外部音声入力端子 |
| ⑥ 音量▼/アラーム1ボタン | ⑰ CD扉/開部 |
| ⑦ 音量▲/アラーム2ボタン | ⑱ 右スピーカー |
| ⑧ スキップ/選局ボタン(-) | ⑲ 電池ボックスカバー |
| ⑨ スキップ/選局ボタン(+) | ⑳ FMワイヤーアンテナ |
| ⑩ メモリーボタン | ㉑ 電源コード |
| ⑪ 再生/一時停止ボタン | ㉒ 電源プラグ |

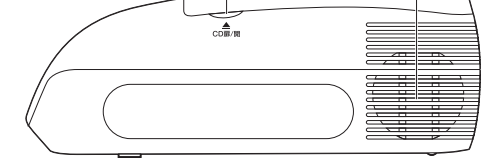
各ボタンを操作するときのご注意

- ラジオやCDなどの各機能を使用時に、5~10秒間ボタン操作がない状態が続くと、本機のディスプレイは現在時刻表示に戻ります。その場合は、任意のボタンを1回押した後、続けて本書に記された操作をしてください(機能によっては最初からのやり直しが必要な場合もあります)。
- ファンクション設定時、再生終了時などにスピーカーやイヤホンから電子音がかかります。

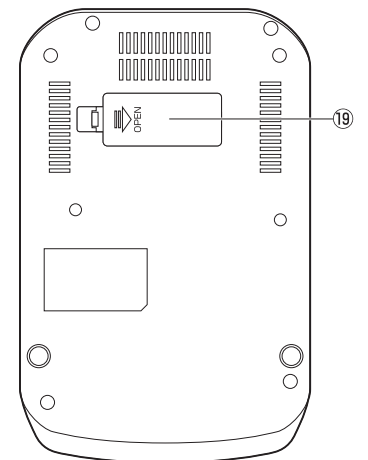
左側面



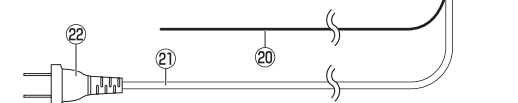
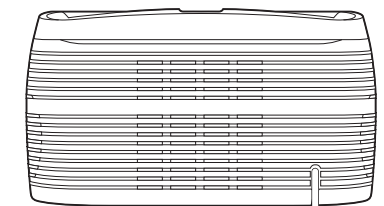
右側面



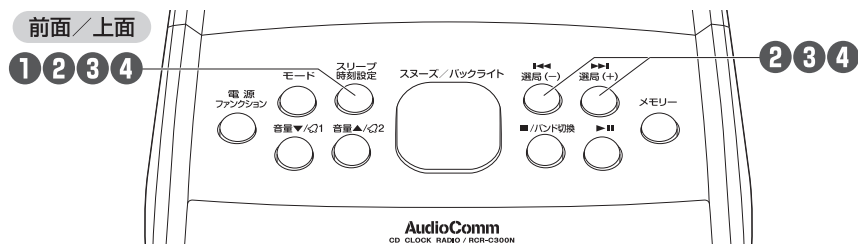
底面



背面



現在の時刻を設定する



電源が切れている状態で操作してください。

- 1 スリープ/時刻設定ボタンを長押しします。
●はじめてお使いのときは、「24H」(24時間表示)が点滅します。



24時間表示

- 2 スキップ/選局ボタン(-/+)を押して表示形式を選び、スリープ/時刻設定ボタンを押します。
●12時間表示の場合は、「12H」を選んでください。
●スリープ/時刻設定ボタンを押すと、「時」表示が点滅します。



12時間表示

- 3 スキップ/選局ボタン(-/+)を押して「時」を選び、スリープ/時刻設定ボタンを押します。
●12時間表示の場合、午後の時間帯では「PM」が表示されます(午前を示すAM表示はありません)。
●スキップ/選局ボタン(-/+)を長押しすると、押している間は数字が速く進みます。
●「時」が確定すると、「分」表示が点滅します。



12時間表示を選んでいる場合
(午後10時の表示例)

24時間表示を選んでいる場合
(午後10時の表示例)

- 4 スキップ/選局ボタン(-/+)を押して「分」を選び、スリープ/時刻設定ボタンを押します。
●設定が確定すると、「:」のみの点滅になります。



12時間表示例

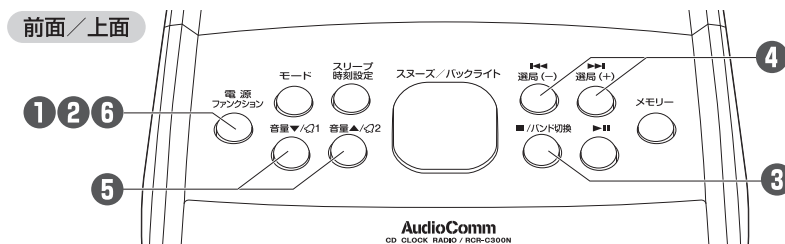
24時間表示例

7

操作上のポイント

何も操作しない時間が約10秒間続くと、設定が確定し、現在時刻表示になります。変更したいときは最初からやり直してください。

ラジオを聴く



- 1 電源/ファンクションボタンを押して、電源を入れます。
- 2 ラジオの受信画面が表示されるまで、電源/ファンクションボタンをさらに数回押します。
AM 52.2 KHz FM 76.0 MHz
AM放送の表示例 FM放送の表示例
- 3 AM放送とFM放送を切り換えるときは、停止/バンド切替ボタンを押します。
- 4 スキップ/選局ボタン(-/+)を押して、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。
●スキップ/選局ボタン(-/+)を長押しすると、周波数が自動で送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。
●周波数表示は約10秒後に現在時刻表示に変わります。
AM 95.4 KHz FM 81.3 MHz ST
FMステレオ放送を良好な状態で受信すると「ST」(FMステレオマーク)が表示されます。
AM放送の表示例 FM放送の表示例
- 5 音量▼/アラーム1ボタンまたは音量▲/アラーム2を押して、音量を調節します。
●音量を上げすぎないようにご注意ください。
006
音量レベルは約2秒間表示されます。
- 6 終了するときには、電源/ファンクションボタンを長押しして電源を切ります。
●ディスプレイが現在時刻表示になっているときは、任意のボタンを一度短く押し、その後、電源/ファンクションボタンを長押ししてください。

FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76~108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

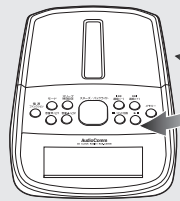
操作上のポイント

操作の途中で現在時刻表示に戻ってしまった場合は、任意のボタンを1回押しした後、続けて各項目に記された操作を行ってください。

次ページへ続く 8

ラジオを聴く(つづき)

より良い状態で受信するには



AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際の方が良く受信できます。

※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。



FM放送の受信

FMワイヤーアンテナを伸ばし、受信状態を確認しながら最も良く聴こえる位置に調節し、先端を壁などに軽く留めてください。

※FMワイヤーアンテナと本機の接合部が破損するおそれがありますので、移動させるときは、アンテナを留めているテープなどを外してから持ち運んでください。

よく聴く放送局をメモリー登録する

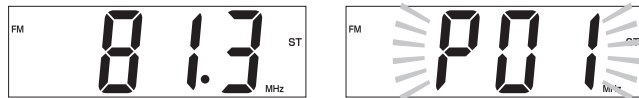
メモリー

よく聴く放送局をメモリー登録しておく、簡単な操作で選局することができます。AM、FMそれぞれ最大10局まで登録できます。

メモリー登録のしかた

1 登録したい放送局を受信し、メモリーボタンを長押しします。

- ディスプレイに「P01」が点滅表示されます。



2 登録するメモリー番号を変更したいときは、スキップ/選局ボタン(-/+)を押して任意の番号を選びます。

- 表示されている番号のまま登録するときは③に進んでください。



3 メモリーボタンを押すと、登録が完了します。

何も操作しない時間が2~5秒間続くと操作がキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。

メモリー選局のしかた

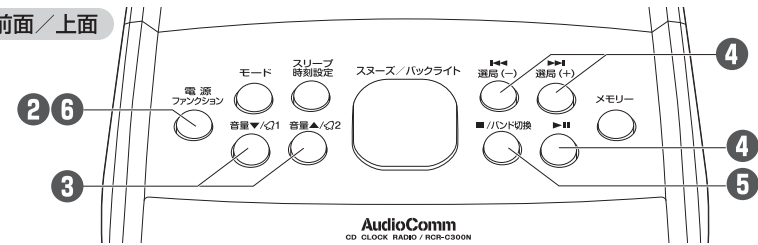
登録した放送局を聴くには、メモリーボタンを押した後、ディスプレイに表示されるメモリー番号を見ながらスキップ/選局ボタン(-/+)で番号を選び、もう一度メモリーボタンを押してください。

操作上のポイント

操作の途中で現在時刻表示に戻ってしまった場合は、任意のボタンを1回押した後、続けて各項目に記された操作を行なってください。

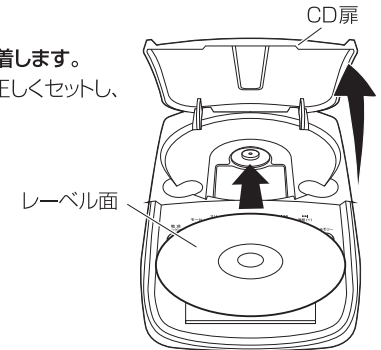
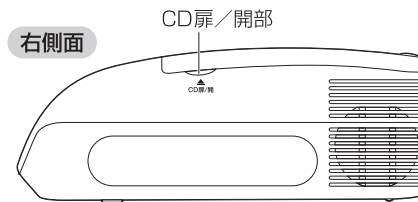
CDを聴く

前面/上面



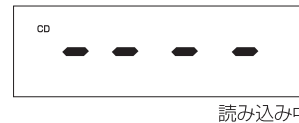
- 1 CD扉/開部を持ち上げてCD扉を開け、ディスクを装着します。
 - レーベル面(印刷してある面)を上にしてディスクを正しくセットし、CD扉をゆっくりと閉めます。

右側面



- 2 電源/ファンクションボタンを押して電源を入れ、「CD」と「- - - -」(点滅)が表示されるまで、電源/ファンクションボタンをさらに数回押します。

- 「- - - -」が点滅しているときは読み込み中です。読み込みが完了すると、自動的に再生が始まります。
- ディスプレイの表示は、「- - - -」に続いて、総曲数→収録時間→曲番号(01)→経過時間と続きますが、5~10秒後には現在時刻表示になります。曲番号や経過時間が表示されず、そのまま現在時刻表示になることもあります。



- 3 音量▼/アラーム1ボタンまたは音量▲/アラーム2で音量を調節します。

- 音量を上げすぎないようにご注意ください。



音量レベルは約2秒間表示されます。

- 4 再生を一時停止するときには、再生/一時停止ボタンを押します。

- 一時停止直後は、再生経過時間が表示され、▶(再生マーク)が点滅します。その後、しばらくすると現在時刻表示になります。再生を再開するには、もう一度再生/一時停止ボタンを押します。

※再生中、現在時刻のみ表示され、▶(再生マーク)が表示されていないときは、再生/一時停止ボタンを1回押しただけでは一時停止しません。CDを一時停止させるには、続けてもう一度再生/一時停止ボタンを押してください(2回押し)。

操作上のポイント

操作の途中で現在時刻表示に戻ってしまった場合は、任意のボタンを1回押した後、続けて各項目に記された操作を行なってください。



CDを聴く(つづき)

- 5** 再生を停止するときは、**停止／バンド切換ボタン**を押します。
●総曲数を表示した後、収録時間表示になり、その後、しばらくすると現在時刻表示になります。
- 6** 終了するときは、**電源／ファンクションボタン**を長押しして電源を切ります。
●ディスプレイが現在時刻表示になっているときは、任意のボタンを一度短く押し、その後、電源／ファンクションボタンを長押ししてください。
※必ずCDを停止してから行なってください。

CDを取り出すときは、ディスクの回転が完全に止まってから行なってください。また、ディスク回転中に指で押さえて止めたりしないでください。けがや故障、ディスク破損の原因になります。


スキップ／選局ボタン(- / +)について

停止中、再生中、再生中の長押しといったそれぞれの状態に応じて、機能が異なります。

ボタン	停止中に押す	再生中に押す	再生中に長押しする
選局(-) 	前の曲を選択します。	曲の最初に戻って再生します。 2回続けて押すと、ひとつ前の曲に戻って再生します。	聴いている曲を早戻します。 指を離れた時点から再生を再開します。
選局(+) 	次の曲を選択します。	次の曲に移動して再生します。	聴いている曲を早送りします。 指を離れた時点から再生を再開します。

※再生中に長押しするときは経過時間表示を参考にしながら操作してください。

1曲リピート・全曲リピート・ランダム再生

- モード**  モードボタンの操作で3つの再生方法を選ぶことができます。
※再生モードを設定後、現在時刻表示に戻ったときは、再生モードのマークは表示されません。任意のボタンを短く押すと、曲番号・経過時間とともに、各マークが数秒間表示されます。

モードボタンを1回押す 1曲リピート

聴いている曲を繰り返し再生します。

- 停止中に1曲リピートを選んだ場合は、スキップ／選局ボタン(- / +)を押して曲番号を選び、再生／一時停止ボタンを押して再生を始めてください。



1曲リピート時はディスプレイに「REP 1」が表示されます。

モードボタンを2回押す 全曲リピート

CD内の全曲を繰り返し再生します。

- 停止中に全曲リピートを選んだ場合は、再生／一時停止ボタンを押して再生を始めてください。



全曲リピート時はディスプレイに「REP ALL」が表示されます。

モードボタンを3回押す ランダム再生

CD内の曲をランダムに再生します。

- 再生中にランダム再生を選んだ場合は、聴いている曲をそのまま最後まで再生し、次の曲からランダム再生が始まります。
- 停止中にランダム再生を選んだ場合は、再生／一時停止ボタンを押して再生を始めてください。



ランダム再生時はディスプレイに「RAND」が表示されます。

- 1曲リピートや全曲リピート、ランダム再生を解除するには、ディスプレイの各マークがすべて消えるまで、モードボタンを数回押してください。

スリープ機能の使いかた

スリープ時刻設定



CDやラジオを聴いているときに、自動電源オフまでの時間を設定することができます。

- 1** 本機の電源が入っているときに、スリープ／時刻設定ボタンを押します。

- 「OFF」が表示され、「Zz」(スリープマーク)が点滅します。



- 2** 設定したい時間が表示されるまで、さらにスリープ／時刻設定ボタンを数回押します。

- 「L90」(90分後に電源オフ)から「L10」(10分後に電源オフ)まで、10分単位で設定できます。
●「OFF」は、スリープ機能を使わない設定(設定解除)です。



- 3** そのまましばらくすると、設定が確定し、それぞれのファンクションに応じた表示に戻ります。

- スリープ機能が有効なときは、「Zz」(スリープマーク)が表示されます。

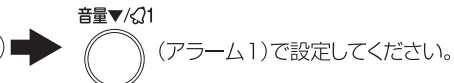


- スリープ設定をした後、スリープ／時刻設定ボタンを押すと、電源が切れるまでの時間を確認することができます。続けてスリープ／時刻設定ボタンを押すと、設定時間を変更することができます。
- スリープ設定を解除するには、上記②で「OFF」を選ぶか、電源／ファンクションボタンを長押しして電源を切ってください。
- この機能はCD、ラジオの他、「AU」(外部音声入力)でも有効ですが、接続機器側の電源を切ることはできませんのでご注意ください。

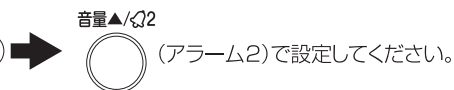
アラーム機能の使いかた

2種類のアラームがあり、お好みに応じて使い分けすることができます。

「ピピッ」というブザー音をアラーム音にしたい場合



CDまたはラジオをアラーム音にしたい場合



アラーム1(ブザー音)の設定方法

電源が切れている状態で操作してください。

- 1 音量▼/アラーム1ボタンを押します。
●「0:00」の「時」表示と「♪」が点滅します。
- 2 スキップ/選局ボタン(-/+)を押して、アラームを起動させたい「時」を選び、音量▼/アラーム1ボタンを押します。
- 3 スキップ/選局ボタン(-/+)を押して、アラームを起動させたい「分」を選び、音量▼/アラーム1ボタンを押します。
- 4 スキップ/選局ボタン(-/+)を押して、アラーム起動時の音量を選び、音量▼/アラーム1ボタンを押します。
●音量設定を大きくしすぎると周囲の迷惑になることがありますのでご注意ください。
●設定が確定すると、現在時刻表示に戻ります。アラーム設定が有効なときは、現在の時刻に加えて「♪」が表示されます。



アラーム2(CDまたはラジオ)の設定方法

- 1 アラームの設定を始める前に、以下の操作をしてください。
●CDをアラーム音として使う場合：CDを装着します(P.10参照)。電源が入っている場合は電源を切ります。
●ラジオをアラーム音として使う場合：アラーム音にしたい放送局を受信し(P.8~9参照)、電源を切ります。
※CDの場合は1曲目からの再生になります。任意の曲を選ぶことはできません。
- 2 音量▲/アラーム2ボタンを押します。
●「0:00」の「時」表示と「♪」が点滅します。



- 3 スキップ/選局ボタン(-/+)を押して、アラームを起動させたい「時」を選び、音量▲/アラーム2ボタンを押します。
- 4 スキップ/選局ボタン(-/+)を押して、アラームを起動させたい「分」を選び、音量▲/アラーム2ボタンを押します。
- 5 スキップ/選局ボタン(-/+)を押して、「Cd」(CD)または「rd」(ラジオ)を選び、音量▲/アラーム2ボタンを押します。



- 6 スキップ/選局ボタン(-/+)を押して、アラーム起動時の音量を選び、音量▲/アラーム2ボタンを押します。
●音量設定を大きくしすぎると周囲の迷惑になることがありますのでご注意ください。
●設定が確定すると、現在時刻表示に戻ります。アラーム設定が有効なときは、現在時刻に加えて「♪」が表示されます。



- 何も操作しない時間が約10秒間続くと、設定操作がキャンセルされます。必要に応じて最初からやり直してください。
- アラームを解除するときは、解除したいアラームのボタン(音量▼/アラーム1ボタン、または音量▲/アラーム2ボタン)を押して、「♪」または「♪」のアラームマークを消してください。
- 上記の場合、設定内容自体は保持されていますので、もう一度設定を有効にしたいアラームのボタンを押すことで有効にできます(有効時は「♪」または「♪」のアラームマークが表示されます)。
- アラーム音としてCDを選択し、ディスクが装着されていない場合は、アラーム起動時にブザー音が代用されます。

アラームが鳴ったら

- アラームを終了するには、起動中のアラームに応じて、音量▼/アラーム1ボタン、または音量▲/アラーム2ボタンを押してください。
- 上記操作によりアラームを終了した場合でも、アラームマークが表示されているときは、翌日の同じ時刻に再び起動します。アラームを起動させたくない場合は、該当するアラームボタンを押して、アラームマークを消してください。

スヌーズ/バックライト



スヌーズ機能について

- アラーム音が鳴っているときにスヌーズ/バックライトボタンを押すと、アラーム音が一時的に中断し、約9分後に再び鳴ります。スヌーズ中は、アラームマークが点滅します。
- スヌーズを解除するには、動作中のアラームのボタン(音量▼/アラーム1ボタン、または音量▲/アラーム2ボタン)を押すか、電源/ファンクションボタンを長押しして電源を切ってください。

操作上のポイント

操作の途中で現在時刻表示に戻ってしまった場合は、任意のボタンを1回押しした後、続けて各項目に記された操作を行ってください。

操作上のポイント

操作の途中で現在時刻表示に戻ってしまった場合は、任意のボタンを1回押しした後、続けて各項目に記された操作を行ってください。

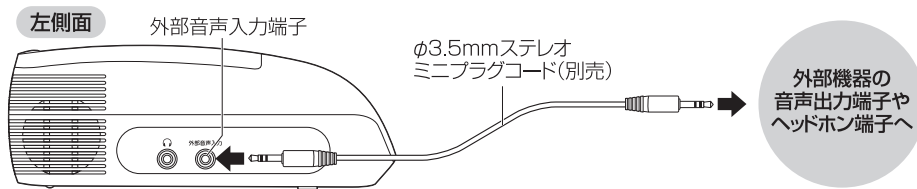
ヘッドホンの使いかた

- 別売のステレオヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)を本機左側面のヘッドホン端子につなぎます。
- ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聴こえなくなります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。



外部機器を接続してスピーカーとして使う

本機の外部音声入力端子と外部機器をφ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)で接続して、携帯音楽プレーヤーなどの音楽を楽しむことができます。



- 1 本機及び外部機器の電源が切れている状態で、上図を参照しながら双方を接続します。
- 2 電源/ファンクションボタンを押して本機の電源を入れた後、「AU」(外部音声入力)が表示されるまで、電源/ファンクションボタンをさらに数回押します。
 - 再生操作時に突然大きな音が出るおそれがありますので、本機の音量は適度に絞った状態にしてください。
- 3 外部機器側の電源を入れ、再生などの操作をします。
- 4 音量▼/アラーム1ボタンまたは音量▲/アラーム2で音量を調節します。
 - 音量の調節は、本機及び外部機器双方で可能ですが、本機側で音量を上げすぎると、接続解除後に電源を入れたとき、突然大きな音が出る場合がありますので、十分ご注意ください。
 - 音量レベルは約2秒間表示されます。
- 5 終了するときには、電源/ファンクションボタンを長押しして電源を切ります。
 - ディスプレイが現在時刻表示になっているときは、任意のボタンを一度短く押し、その後、電源/ファンクションボタンを長押ししてください。
 - 外部機器の電源も切った後に、双方の接続を解除してください。

操作上のポイント

操作の途中で現在時刻表示に戻ってしまった場合は、任意のボタンを1回押しした後、続けて各項目に記された操作を行ってください。

スヌーズ/バックライトボタンについて

スヌーズ/バックライト



ディスプレイの明るさを調節したいときは、スヌーズ/バックライトボタンを押してください。押すたびに暗め→明るめ→バックライト切に変化します。
 ※アラーム動作時を除きます。アラームが鳴っているときのスヌーズ機能については、P.14をご参照ください。

故障かなと思ったら

	症状	チェック項目
共通部	電源が入らない	○電源コードが外れて(ゆるんで)いませんか。
	音が出ない	○音量が最小になっていませんか。 ○ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。 ○ファンクションは正しく選ばれていますか。
CD部	CDの再生が始まらない	○CDが裏返しに入っていないですか。 ○CDがひどく汚れていませんか。 ○規格外のディスクが入っていないですか。 ○レンズがひどく汚れていませんか。 ○ファンクションは正しく選ばれていますか。
	CDの音が出ない	○一時停止状態になっていませんか。
	CDの音が飛ぶ	○結露状態になっていませんか。 ○レンズがひどく汚れていませんか。 ○強い振動を与えていませんか。 ○CDに大きなキズやひどい汚れはありませんか。
ラジオ部	ラジオに雑音が入る	○近くで携帯電話を使用していないか。 ○テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
その他	ディスプレイが暗い	○スヌーズ/バックライトボタンで調整してみましたか。
	外部機器の音声出力ができない	○ファンクションは「AU」(外部音声入力)になっていますか。 ○接続端子は正しく接続されていますか(ゆるんでいませんか)。 ○誤って接続端子をヘッドホン端子に差し込んでいませんか。 ○本機または外部機器の音量が最小になっていませんか。
	アラーム音が大きい(小さい)	○アラーム設定時に音量の調節を行ないましたか。

操作上のポイント

操作の途中で現在時刻表示に戻ってしまった場合は、任意のボタンを1回押しした後、続けて各項目に記された操作を行ってください。

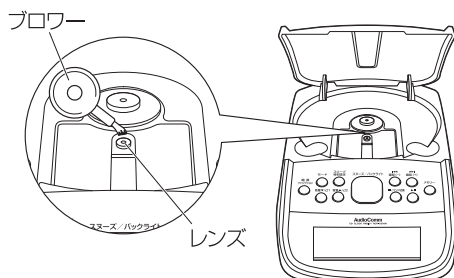
お手入れのしかた

あらかじめ電源コードや乾電池を外してから行ってください。

CDプレーヤーのレンズの清掃

レンズの汚れは、音飛びなど正常な再生ができなくなる原因になります。CD扉を開け、右図を参照してレンズをクリーニングしてください。

- 市販のクリーニングキットのプロワーを使って、ほこりやゴミなどはき出してください。
- 万一指紋などがついている場合は、市販のレンズクリーナーをお使いください。



キャビネットの清掃

- キャビネットや操作ボタンなどが汚れたら、柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭き取ってください。
- 電源コードのプラグにほこりがたまると、発火する危険があります。プラグをコンセントから抜いて時々清掃してください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

主な仕様

電源	AC100V 50 / 60Hz
	時計バックアップ用乾電池：DC3V(単4形乾電池×2本：別売)
消費電力	10W
最大出力	1W×2
スピーカー	口径64mmスピーカー(8Ω)×2
受信周波数	AM：522～1620kHz
	FM：76～108MHz(FM補完放送「ワイドFM」対応)
アンテナ	AM：内蔵フェライトバーアンテナ
	FM：ワイヤーアンテナ
再生可能CD	CD-DA ※MP3ほか圧縮ファイルの再生は非対応
接続端子	ヘッドホン端子：φ3.5mmステレオミニプラグ
	外部音声入力端子：φ3.5mmステレオミニプラグ
外形寸法	幅140×高さ75×奥行224mm(突起物を除く)
質量	約1.15kg(時計バックアップ用乾電池を除く)
時計精度	月差約30秒
付属品	保証書付取扱説明書

※本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

※本取扱説明書で使用する図版は、実際の機種と一部外観が異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。